



日本共産党
北茨城市委員会
事務局 電話 30330-2

毎週 日曜日発行

インターネットでも
ご覧いただけます。

http://www.jp-knh.com/

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

第2回定例市議会 開会

冒頭に市長が就任あいさつ

6月28日、市長選挙後初となる定例市議会が開会されました。会期は7月12日までの15日間です。

会議の冒頭に豊田稔市長から就任あいさつがありました。市長は「これまで皆様に多大な迷惑をかけた。残された人生を北茨城市の

発展のために捧げたい」と述べ、選挙公約である財政再建、市立総合病院問題、教育・福祉の充実等々の持論を展開しました。

この中で市立総合病院の建設については「多くの市民が早期建設を望んでいると、選挙を通じて感じてい

るが、まずは病院経営の安定化が先決。新病院建設計画は一時凍結する」と明言。

さらに「夢と希望を市民に与え、それを具現化するのが政治家。そのためにも県開発公社所有の中郷町小野矢指地区の土地を活用して、自然公園や国の研究機関頭の誘致を検討したい」と述べました。

最後に議員にたいしては



国民平和大行進

雨について 北茨城～高萩～日立

核兵器の廃絶を訴え、一歩でも二歩でも一緒にと呼びかけながら、毎年、全国津々浦々から広島・長崎めぐりして歩みをすすめる「国民平和大行進」。今年は第50回という節目の年にもあたっています。



沿道から熱い声援

5月に北海道の礼文島を出発した太平洋コースの行進は、東北を縦断し、6月28日に福島県から茨城県へと引き継がれました。29日の朝、ときおり強く降る雨について、大津港駅前を出発。約30名の行進団が北茨城、高萩、日立とパレードしました。いずれの市でも、市長さんや市議会議長さんの激励を受け、また沿道の皆さんからも声援と募金が寄せられました。行進には今年も、日本共産党の福田明、鈴木やす子両市議も参加しました。

議会の今後の日程

7月4日	一般質問
5日	建設委員会
6日	産業委員会
9日	文教委員会
10日	総務委員会
12日	最終日

「厳しい財政状況ではあるが、協力しながら、また時には激しく議論を交わしながら北茨城市の再生に向けて、取組んでいきたい」と結びました。

一般質問は7/4
市議会のおもな日程は表のとおりで、一般質問は7月4日におこなわれます。

日本共産党市議団は次の質問項目を予定しています。

「福田明」(1番目)
市長のマニフェスト(選挙公約)について
財政健全化について
市立総合病院の再生
保険・福祉の充実
高萩・北茨城広域工業用水企業団について
中郷地区の県開発公社所有の土地活用について
「鈴木やす子」(5番目)
住民税増税について
乳幼児医療費助成拡大について
少人数指導について
その他



市女性連盟総会

『ベアテの贈りもの』上映

6月28日、北茨城市女性連盟の第11回総会が開かれました。06年度事業報告、設立10周年記念特別報告、07年度事業計画等が審議さ

れ、承認されました。つづいて、映画『ベアテの贈りもの』が上映されました。憲法に男女同権の条文を書き込んだのが、ベアテさんという若い女性でした。その人柄と見識と努力が描かれています。

あわせて、憲法条文を現実の形として機能させるために重ねられてきた多くの女性たちのためめ努力にもふれることができました。

映画の最後には、いまでも元気なベアテさんが「日本の憲法九条は素晴らしい。他の国に真似をさせることです」と私たちを励ましてくれています。

日本共産党 参議院議員

紙とも子

かけある記

過去の侵略戦争を正当化する「靖国派」の動きが、さまざまな形で表に出ています。日本青年会議所が作成したDVD「誇り」も、日本の侵略戦争を賛美し歴史を歪曲する靖国神社の遊就館などの展示物と同じ内容のもので、文部科学省の委託事業で学校上映を計画していました。しかし、石井郁子党衆院議員の質問をきっかけに、世論の批判を受けて、青年会議所は契約を辞退しました。

また沖縄戦における集団自決について、文部科学省が教科書検定で「軍の強制」はなかったと削除・修正させました。しかし沖縄県議会が、全会一致で、

政府にその撤回を求める意見書を可決しました。従軍慰安婦問題でも「強制連行はなかった」と、自民・民主議員など44人が連名で、米国紙への意見広告を掲載しましたが、これに対する批判・怒りは世界中に広がっています。

創立から85年、命がけで侵略戦争に反対してきた「たしかな野党」日本共産党が参院選で前進し、『靖国派』に厳しい審判をくだそうではありませんか。

